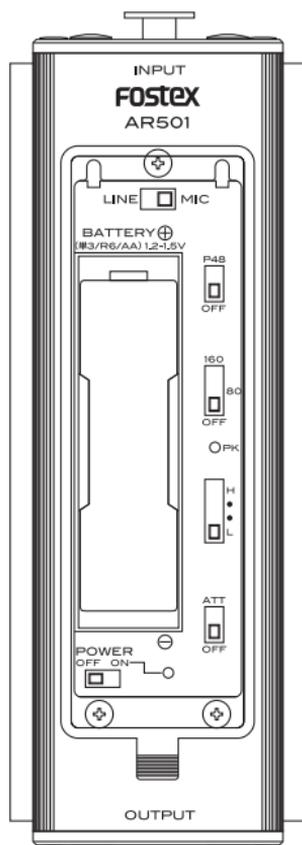


AR501 マイクプリアンプ

取扱説明書

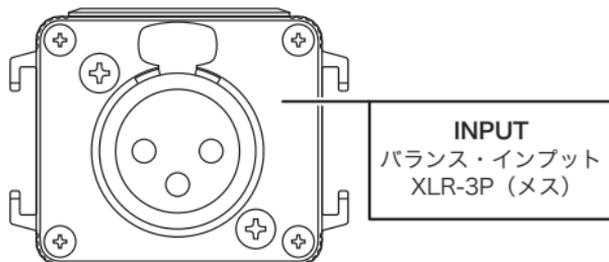


目次

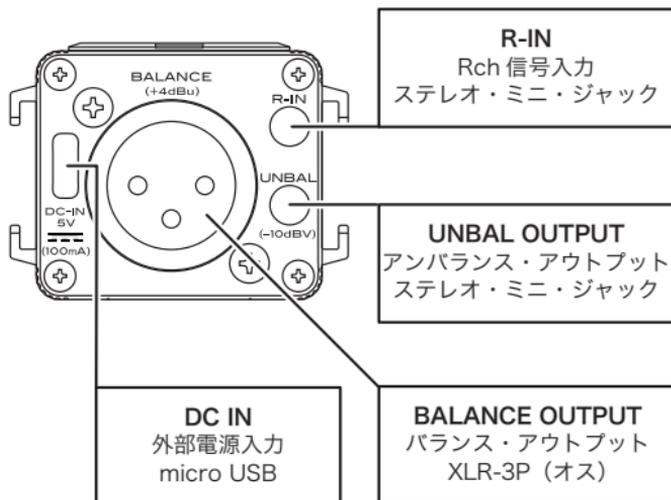
1. 各部名称	3
2. 入出力詳細	6
3. バッテリー・カバー内詳細	9
4. 電源	15
5. 筐体詳細	17
6. 付属品詳細	19
7. 主な接続方法	21
8. 入出力仕様	22
9. 性能	24
10. 外観仕様	25
11. ブロックダイアグラム	27

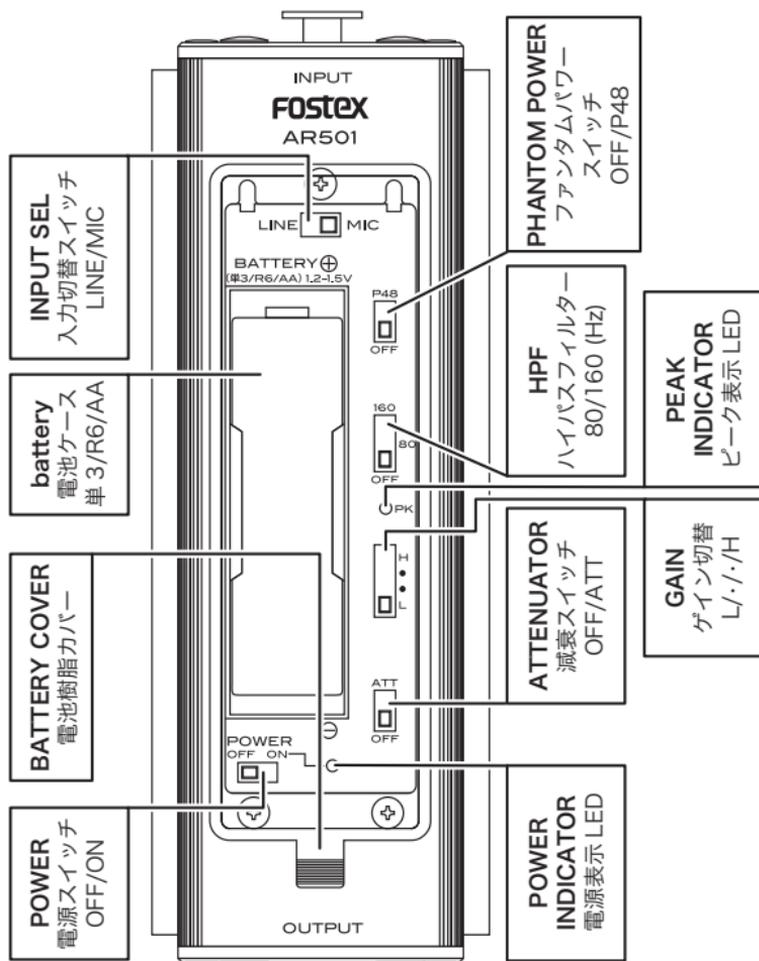
1. 各部名称

<インプット・パネル>

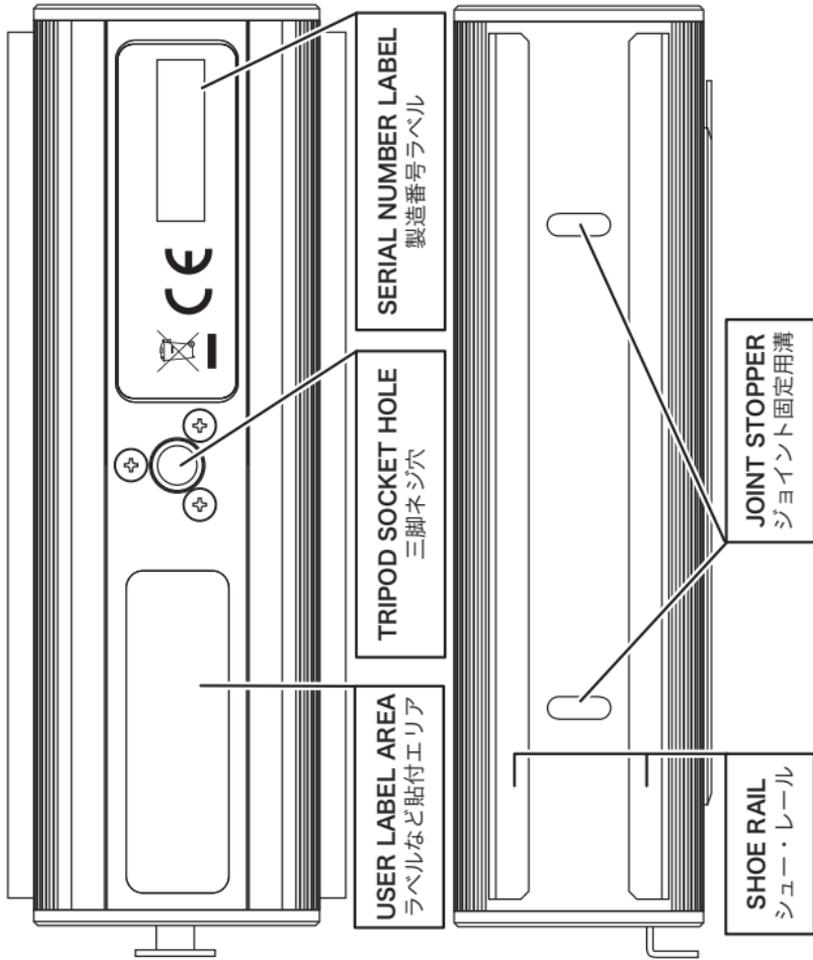


<アウトプット・パネル>



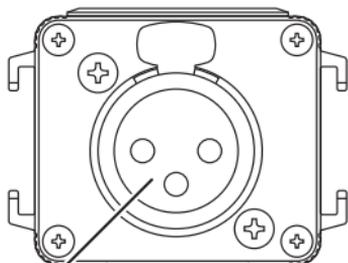


<ボトム&サイド・パネル>



2. 入出力詳細

<インプット>



INPUTコネクタ

マイクロフォンやラインレベル出力機器の信号を接続します。接続する機器に合わせて、INPUT SELスイッチを切り替えます。(バッテリー・カバー内詳細参照)

[コネクタ]: XLRタイプ(メス) / ピン数: 3ピン(2番HOT)

[入力インピーダンス]

LINE: 10k Ω 以上

MIC: 2k Ω 以上

[入力レベル]

INPUT SEL	基準	最大
MIC	-60/-45/-30/-20dBu	-40/-25/-10/0dBu
LINE	+4dBu	+24dBu

<アウトプット>

BALANCED OUT コネクタ

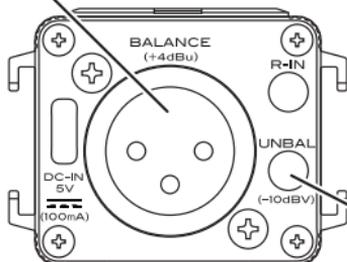
ラインレベルの信号をバランスで出力します。

[コネクタ]: XLRタイプ(オス)/ピン数: 3ピン(2番HOT)

[基準出力レベル]: +4dBu

[最大出力レベル]: +24dBu

[適合負荷インピーダンス]: 10k Ω 以上



UNBALANCED OUT コネクタ

ラインレベルの信号をアンバランスで出力します。

(L/R chに同じ信号を出力)

ATT スイッチにより、出力レベルを減衰させることができます。

[コネクタ]: ステレオ・ミニ・ジャック/ ϕ 3.5mm

[出力レベル]

ATT	基準	最大
OFF	-10dBV	+10dBV
ON	-50dBV	-30dBV

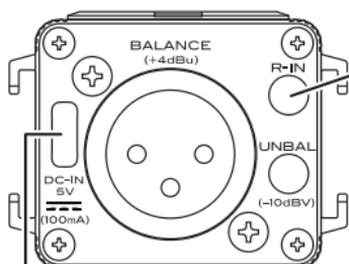
<その他>

R-IN コネクタ

このコネクタにアンバランスで出力されるラインレベルの信号を接続すると、UNBALANCED OUT コネクタの R チャンネルから出力されます。

もう 1 台の AR501 を接続して、ステレオで使用する場合に便利です。

[コネクタ]: ステレオ・ミニ・ジャック / ϕ 3.5mm



DC-IN コネクタ

外部から電源を供給する場合に使用します。

接続可能な電圧は 5V で、一般的なモバイル・プースターなどが利用できます。

[コネクタ]: micro USB

[入力電圧]: 5V \pm 3%

[消費電流]: 100mA ピーク

MEMO

内蔵電池と併用した場合、入力電圧が上記規格よりも下回る、あるいは接続が断たれると自動的に内蔵電池に切り替わります。

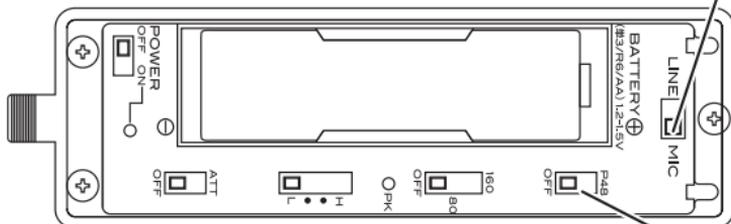
3. バッテリー・カバー内詳細

INPUT SEL スイッチ

INPUT に接続する機器に合わせて切り替えるスイッチです。

MIC	ダイナミック型及びコンデンサ型マイクを接続する場合に選択します。
LINE	ミキサーなどのラインレベルの信号を接続する場合に選択します。

※LINE を選択した場合、BALANCED OUTPUT から信号は出力されません。



PHANTOM POWER スイッチ

コンデンサ・マイクに電源を供給する場合に操作するスイッチです。

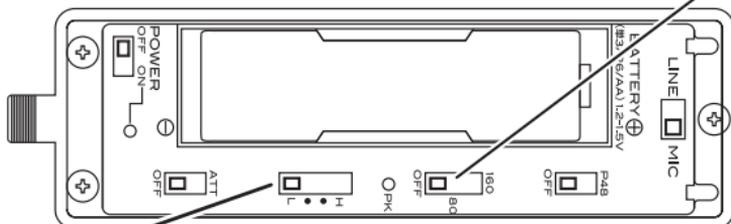
OFF	マイク給電オフ
P48	マイク給電オン。INPUT コネクタに 48V の電圧が供給されます。省電力モード時は、24V が供給されます。

HPF スイッチ

マイクから入力される風切り音や、電気設備の低周波成分のノイズを低減するスイッチです。

80	80Hz 以下の周波数を減衰させます。
160	160Hz 以下の周波数を減衰させます。

※減衰量は -6dB/oct



GAIN スイッチ、PEAK インジケーター

マイクの感度に合わせてマイクアンプのゲイン（増幅量）を調整するスイッチです。スイッチ近傍の PK（ピーク・インジケーター）の点灯状態や OUTPUT に接続する機器の入力信号レベルを目安にして調整します。

	マイク感度目安 (dBu)	ゲイン (増幅量) (dB)
H	-60	+64
·	-45	+49
·	-30	+34
LINE	-20	+24

※目安に合った信号を入力し、ゲインをそれに合わせると OUTPUT から基準レベルが出力されます。

POWER スイッチ

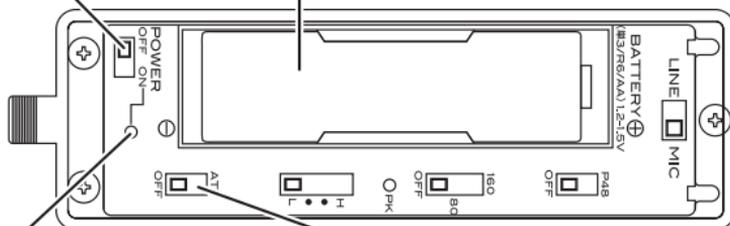
本体の電源スイッチです。

電池ボックス

単三電池を1本セットします。

使用可能電池の種類：

Ni-MH（ニッケル水素）、
アルカリ



POWER インジケーター

電源表示用 LED です。
(詳細は次頁参照)

OUTPUT ATT スイッチ

OUTPUT (UNBALANCED) の信号を減衰させる場合に操作するスイッチです。DSLR のマイク入力など、信号レベルを低くして入力する場合にオンにします。

OFF	信号は減衰しません。(基準出力： -10dBV)
ON	信号を減衰させます。(基準出力： -50dBV)

< POWER インジケーター >

本体の電源が ON になると点灯します。本体の動作モード・使用電源によって点灯状態・点灯色が変化します。

[内蔵電池：電源 ON 直後]

点灯パターン	
通常モード / 設定受付中	
Ⓒ Ⓒ ● ● Ⓒ Ⓒ ● ● (1 秒) ×3 回	Ⓒ 緑) 点滅 (早) 3 秒間
省電力モード / 設定受付中	
Ⓒ ● ● ● Ⓒ ● ● ● (1 秒) ×3 回	Ⓒ 緑) 点滅 (遅) 3 秒間
設定完了中	
Ⓔ Ⓔ Ⓔ ●	Ⓒ 赤) 点滅 (早) 3 回

設定受付中に PHANTOM POWER スイッチを OFF → ON → OFF と操作すると、通常モードと省電力モードを切り替えることができます。

省電力モードでは、内部回路電圧を下げ消費電力を約 40% セーブすることができます。(P48 は 24V になります。)

各モードは記憶されるため、モードを切り替える場合は、一旦電源を切り、同じ操作を行います。

設定受付中に何も操作を行わなければ、保存されている設定で動作します。

設定完了の表示 (赤の点滅) も行われません。

[内蔵電池：通常モード動作中]

点灯パターン		P48	電池残量
Ⓔ Ⓔ ● ● Ⓔ Ⓔ ● ● Ⓔ …	点滅： Ⓔ 緑) 2回	OFF	多い
Ⓕ Ⓕ ● ● Ⓕ Ⓕ ● ● Ⓕ …	点滅： Ⓕ 黄) 2回	ON	多い
Ⓔ Ⓔ Ⓖ ● Ⓔ Ⓔ Ⓖ ● …	点滅 Ⓔ 緑) 2回 Ⓖ 赤) 1回	OFF	少ない
Ⓕ Ⓕ Ⓖ ● Ⓕ Ⓕ Ⓖ ● …	点滅 Ⓕ 黄) 2回 Ⓖ 赤) 1回	ON	少ない
Ⓖ …	Ⓖ 赤) 点灯	OFF 強制	無

※赤が点滅した場合は早めの電池交換をお勧めします。

※赤が点灯した場合は回路用電源及び P48 は強制的に OFF になります。速やかに電池を交換してください。

[内蔵電池：省電力モード動作中]

点灯パターン		P48	電池残量
Ⓔ ● ● ● ● Ⓔ ● ● ● ● Ⓔ …	点滅：Ⓔ 緑 1回	OFF	多い
Ⓕ ● ● ● ● Ⓕ ● ● ● ● Ⓕ …	点滅：Ⓕ 黄 1回	ON	多い
Ⓔ Ⓡ ● ● ● ● Ⓔ Ⓡ ● ● ● ● Ⓔ …	点滅 Ⓔ 緑) 1回 Ⓡ 赤) 1回	OFF	少ない
Ⓕ Ⓡ ● ● ● ● Ⓕ Ⓡ ● ● ● ● Ⓕ …	点滅 Ⓕ 黄) 1回 Ⓡ 赤) 1回	ON	少ない
Ⓡ …	Ⓡ 赤) 点灯	OFF 強制	無

※ P48 は 24V になります。

※赤が点滅した場合は早めの電池交換をお勧めします。

※赤が点灯した場合は回路用電源及び P48 は強制的に OFF になります。

速やかに電池を交換してください。

[DC-IN：動作中]

点灯パターン		P48
Ⓔ …	Ⓔ 緑) 点灯	OFF
Ⓕ …	Ⓕ 黄) 点灯	ON

※ DC-IN で動作中は、電源 ON 直後の設定受付は行われません。

※ DC-IN の場合、電池残量は検出しません。

4. 電源

<内部電池>

単 3 型乾電池を 1 本使用します。

種類はニッケル水素 (Ni-MH) 充電式乾電池 (※) 及びアルカリ乾電池です。

※本機に充電機能はありません。別途専用充電器をお買い求めください。

[動作時間参考値]

電池種類	通常モード		省電力モード	
	マイク給電		マイク給電	
	OFF	ON	OFF	ON
アルカリ電池 (LR6)	約 9h	約 3h	約 15h	約 8h
Ni-MH (eneloop)	約 10h	約 4h	約 16h	約 9h
Ni-MH (eneloop pro)	約 12h	約 5h	約 18h	約 11h

注意

※あくまでも参考値であり、使用時間を保証するものではありません。実際の使用状態・環境の変化により時間は変化します。

※ Ni-MH タイプは充放電を繰り返す回数が増えるほど、最大容量が徐々に減少していきます。

※ Ni-MH タイプの測定には、いずれも新品を一度放電し、再度満充電したものを使用しています。

メモ

※ Ni-MH タイプは自己放電が起こるので、充電後なるべく早いうちに使用するか、使用直前に充電することを推奨します。または、自己放電特性を改善した eneloop などの次世代型の電池の使用を推奨します。

※アルカリ乾電池は低温時の放電特性が著しく低下するので、そのような環境下で利用される場合は Ni-MH タイプ充電電池の使用を推奨します。

<外部電源>



DC-IN コネクタ

DC-IN にモバイル・ブースターなどを接続することで、外部から電源を供給することが可能です。

メモ

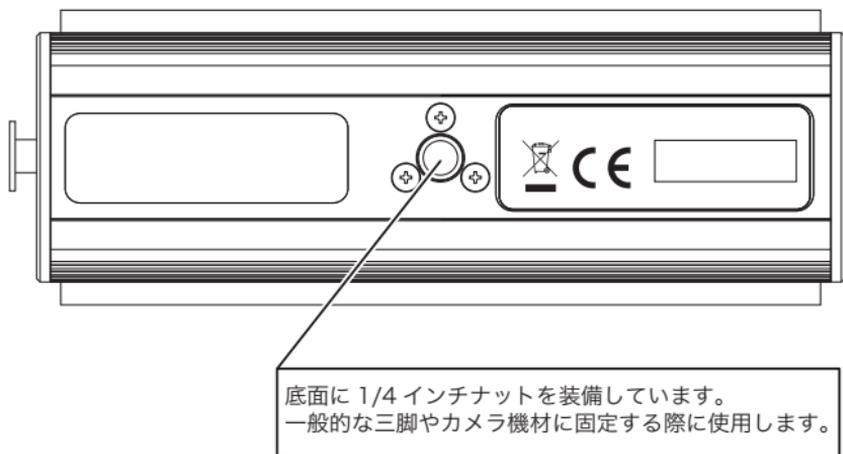
※外部電源を接続すると、内部電池は消費されません。

※ POWER インジケータは点灯します。(内部電池の場合は点滅)

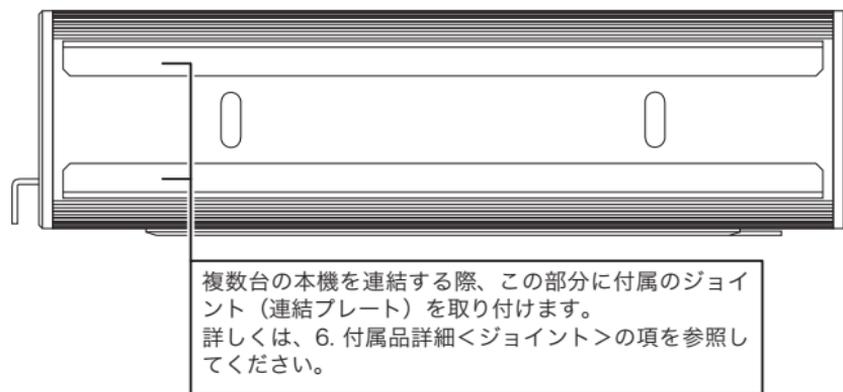
※内蔵電池と併用した場合、外部電源の供給が何らかの原因で途絶えると、自動的に内部電池に切り替わります。外部を主電源、内部をバックアップ電源といった使用方法が可能です。

5. 筐体詳細

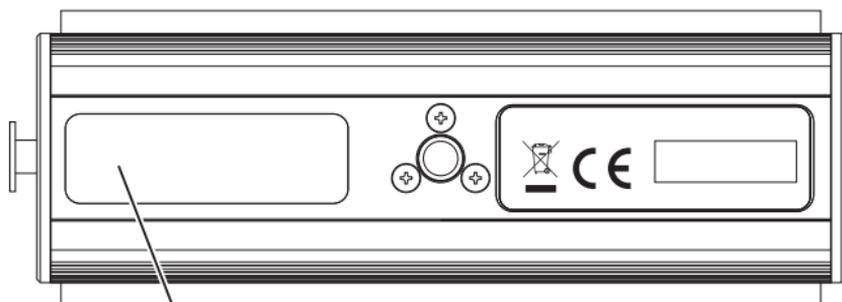
<三脚ネジ>



<シュー・レール>



<ラベル貼付>

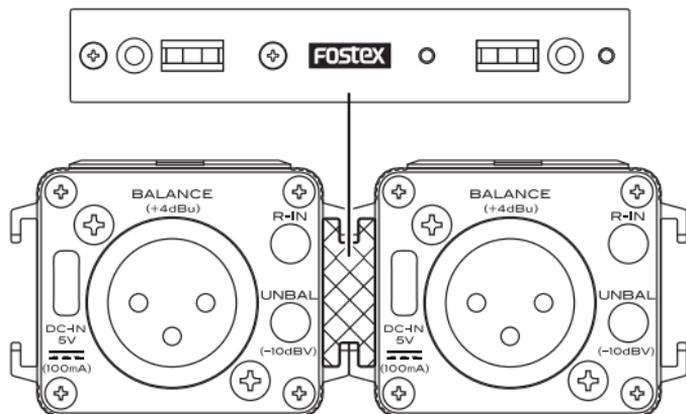


底面にラベル貼り付け用の凹みを用意しました。社名や管理用ラベルなどの貼り付けにご利用ください。こちらを利用すれば、三脚などに固定した際にラベルの摩耗が防げます。

[参考寸法]: 41×13mm、角 R2.5mm

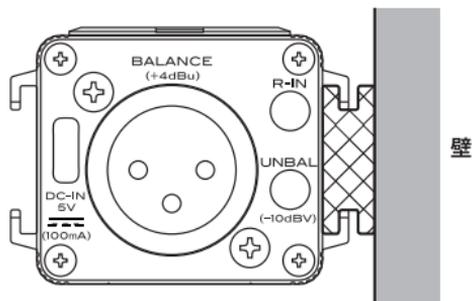
6. 付属品詳細

<ジョイント（連結プレート）>



複数台のAR501を連結する際に使用します。

片方の機器に先に取り付けてから、もう一方を取り付けます。

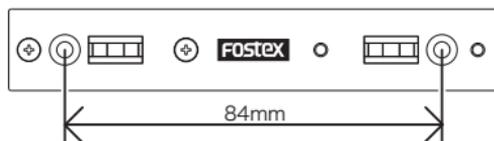


他の方法として、ジョイントに開いている直径3mmの穴を利用して、ジョイントを壁などに固定し、そこにAR501を取り付けることが可能です。

[推奨ネジ]: 直径: 3mm / 長さ: 10mm以上 / 形状: 皿タイプ (他の形状は不可)

※取り付ける場所の強度を十分確認してから、取り付けてください。

[参考寸法]



< ケーブル >



アンバランス出力の信号を、各種 DSLR やレコーダーなどの他の機器に接続する場合や 2 台の本機を接続する場合に使用します。

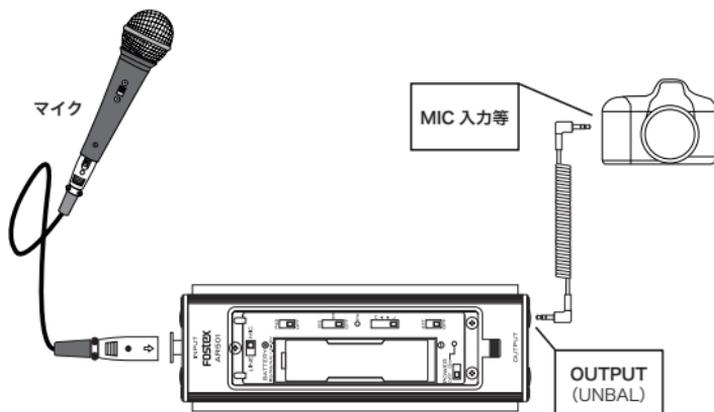
取り回しに便利な、カールコードを採用しています。

[端子]: ステレオ・ミニ・プラグ ϕ 3.5mm

[長さ]: 収縮時: 20cm、最大: 50cm

7. 主な接続方法

<デジタル・カメラ（DSLR）との接続>



※ DSLR の入力が MIC レベルの場合、AR501 の ATT スイッチを ATT 側に切り替えてください。詳細についてはご使用になる DSLR の取扱説明書を参照してください。

※マイクではなく、ミキサーなどのラインレベルのバランス出力を AR501 でアンバランス出力に変換する場合は、INPUT SEL を LINE に切り替えてください

<音声ミキサーとの接続>

マイクと音声ミキサーの距離が離れている場合の増幅用や、ノイズ対策として本機を接続します。

使用例

- ・ ホールのステージや天井に設置したマイクとミキサーなどの接続
- ・ 各種スポーツ中継の、集音マイクと中継設備などの接続
(屋外で使用する場合は本機の防水対策が必要)
- ・ 大規模スタジオ等で照明設備などのノイズ源が多い場所、等

8. 入出力仕様

<アナログ・インプット>

・バランス

XLR-3-31タイプ（電子バランス）

1 : GND、2 : HOT、3 : COLD

LINE

入力インピーダンス：10 k Ω 以上

基準入力レベル：+4 dBu

最大入力レベル：+24 dBu

MIC

入力インピーダンス：2 k Ω 以上

基準入力レベル：-60~-20 dBu

最大入力レベル：0 dBu

・アンバランス

R-IN： ϕ 3.5mmステレオ・ミニジャック

※アンバランスアウトからスルーで出力

<アナログ・アウトプット>

・バランス

XLR-3-32タイプ（電子バランス）

1 : GND、2 : HOT、3 : COLD

適合負荷インピーダンス：10 k Ω 以上

基準出力レベル：+4 dBu

最大出力レベル：+24 dBu（省電力モード時：+20 dBu）

・アンバランス

φ3.5mmステレオ・ミニジャック

適合負荷インピーダンス：10 kΩ以上

基準出力レベル：-10 dBV（ATT ON時：-50 dBV）

最大出力レベル：+10 dBV（ATT ON時：-30 dBV）

< MIC 給電 >

4.8V±4V

省電力モード時：2.4V±2V

9. 性能

<周波数特性>

・LINE IN-OUTPUT (アンバランス)
20 ~ 20,000 Hz \pm 1 dB (基準レベル)

・MIC IN-OUTPUT (バランス)
GAIN: Low (-20 dB)
20 ~ 20,000 Hz \pm 1 dB (基準レベル)

GAIN: Hi (-60 dB)
20 ~ 20,000 Hz \pm 3 dB (基準レベル)

<SN比>

(A-WEIGHT)

・LINE IN-OUTPUT (アンバランス)
90 dB以上

・MIC IN-OUTPUT (バランス)
60 dB以上 (入力換算雑音 -125 dBu)
GAIN: Hi (ゲイン: +64 dB)、入力: 150 Ω 短絡

<全高調波歪率>

(THD+N, LPF: 20 kHz)

・LINE IN-OUTPUT (アンバランス)
0.005% 以下 at 1 kHz / +4 dBu

・MIC IN-OUTPUT (バランス)

0.01% 以下 at 1kHz / -20dBu (GAIN: Low)

0.1 % 以下 at 1kHz / -60dBu (GAIN: Hi)

<HPF>

HPF 80Hz : -3±1dB

HPF 160Hz : -3±1dB

<ピークLED点灯レベル>

クリップレベル : -1dB

10. 外観仕様

<寸法>

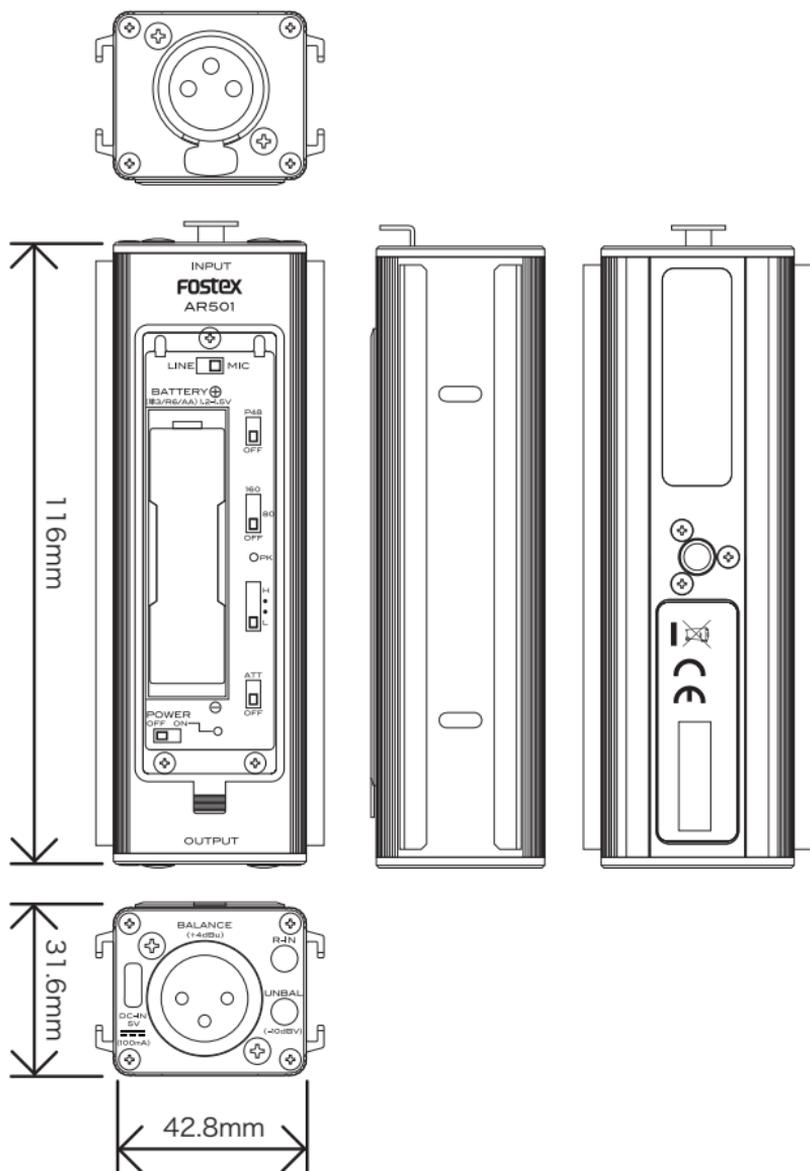
W42.8mm x H31.6 x D116mm

<重量>

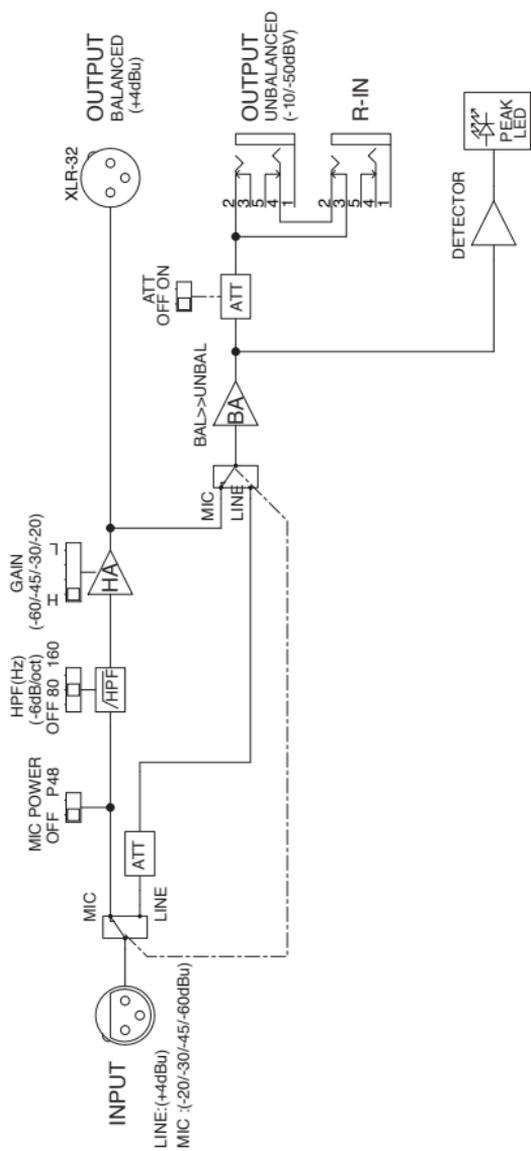
約110g (電池なし)

約150g (電池含む、eneloop 単三電池 : 1本)

<外觀図>



11. ブロックダイアグラム



Fostex®

保証書

このたびフォステクス製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。厳格な検査を経てお手元にお届けしておりますが、お客様の正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証書記載内容により無償で修理いたします。本書をご提示の上、取扱販売店または当社営業窓口へ修理をご依頼ください。

保証期間 1年

機種名 および 型番	AR501
機番	

フォステクス カンパニー

〒196-0024 東京都昭島市宮沢町 512 ☎ 042-545-6111

〒 ☐
ご住所:

ご氏名:

お買い上げ日: 年 月 日

販売店

〒 ☐

販売店様へのお願い: 必ず太枠内の所定事項を記入捺印の上、お客様にお渡しください。
お客様へのお願い: 保証期間内に無料修理を受ける場合、太枠内に記載がないときは、「領収書」または「納品書」等と一緒に本書を提出してください。

Fostex®

フォステクス カンパニー 宮沢オフィス
〒196-0024 東京都昭島市宮沢町512
TEL. 042-545-6111 FAX. 042-546-6067